

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
168		交通安全対策経費	01		一般会計
			02		総務費
基本施策	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	01		総務管理費
			15		交通安全対策費
担当部課名	大山田支所生活環境課		101		交通安全対策経費
作成者氏名	福岡 兵悟	連絡先	47-1163	01	交通安全対策経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	地域住民	啓発活動による交通安全意識の高揚と交通災害共済の加入促進により万一の交通事故災害に備える。				
本年度事業内容	1 交通安全対策 ① 啓発活動: 年4回(全国交通安全運動2回、交通安全県民運動2回) ・交通安全協会、警察などと協力して、交通安全運動期間中に街頭啓発(交通安全パレード)を2回(延べ8回)実施。 ・交通安全協会、学校、事業所など交通安全運動への取組(街頭指導など)を調整。 2 三重県交通災害共済事業への加入促進 ① 自治会と協力して、加入促進活動を行った。					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	0	12	12
	消耗品費		9	9
	通信運搬費		3	3
	その他			
合計(A+B)		1,440	1,452	1,452
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
その他特財				
一般財源	1,440	1,452	1,452	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
街頭啓発(交通安全パレード)	回	8	8	8			
交通災害共済加入者数	人	4,320	4,400	4,700			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
交通災害共済加入率 (加入者数/地域内人口)	地域内人口を分母とし、加入者数を分子とする比率を指標としました。	%	73 目標 (80)	75	80
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

・地域住民の交通安全意識の高揚を促進するには、交通安全協会、自治会など関係機関や各種団体との連携による取組が必要である。
--

評価	必要性	4	・必要性: 交通安全協会、自治会などと連携して事業推進に取り組んでいる。 ・有効性: 交通安全運動での啓発活動など、各種団体等と事前に調整を図り効果的に実施。 ・達成度: 事業計画が達成できた。 ・効率性: 限られた予算で効率的に実施。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		